

令和4年度 東京都中学校

音楽創作コンクール

課題詩

すれちがい

山本 瓊子 詩

時間をかけて  
きみの思いが わかった  
ことばとことばが ぶつかりあって  
言いあった あのととき  
ことばと ことばの 行きちがい  
ことばと ことばの すれちがい  
見えない 互いの 気持ちだった  
だから 語り合ったね あのととき  
今は わかるよ 君のころ  
今なら わかる とてもよく  
わかりあえる  
わかりあえる

風が歌う日は

しま なぎさ

風が歌う 春の歌を  
花が夢見て 空の星になる  
風が歌う 夏の歌を  
魚が夢見て 波に揺られてる  
風が歌う 秋の歌を  
鳥が夢見て 遠い旅に出る  
風が歌う 冬の歌を  
空が夢見て 雪の花になる  
わたしたちも  
僕たちも 歌う  
遙か宇宙に 響けと  
希望の歌を  
ラララララ  
ラララララ  
ラララララ

ほーい

高木 あきこ 詩

真昼の峠は 明るくて  
リュック下ろせば 風が来る  
はるかに連なる 山並みを  
越えて来たのか この風は  
ほーい  
ほーい  
きらめく雲に 呼びかける  
ここまで来たよ 一歩ずつ  
声は大空に 吸い込まれ  
青く染まって 消えていく  
姿を見せない 鳥たちが  
ときおりピルツと 鳴きかわす  
ほーい いっしょに うたおうか  
自由な心の きょうの歌

そうしよう

秋山 啓之介 詩

空っぽの瓶に  
何を容(い)れよう  
空っぽの瓶に  
花を挿(さ)そうか  
そうしよう  
ぱっと明るい  
部屋になるから  
空っぽの掌(て)に  
何を乗せよう  
空っぽの掌に  
夢を乗せよう  
そうしよう  
はるか遠くに  
投げられるから  
空っぽの心に  
何を咲かそう  
空っぽの心に  
歌を咲かそう  
そうしよう  
歌がみんなに  
飛んでいくから